

**『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』  
実施レポート**

学校名	常陸大宮市立村田小学校	実施日	平成26年1月28日
担当教員名	青木 文子	実施学年・人数	第4学年・34名

学校・学級紹介	<p>本校は、茨城県北西部に位置し、市の南西部には那珂川が、市の東部には久慈川が流れる自然豊かな地域にある。本校児童は168名で、運動の好きな子どもが多く、休み時間には校庭へ出て元気に遊ぶ姿が見られる。</p> <p>4年生児童は34名（男子14名、女子20名）で、明るく活発な子どもが多い。体を動かすことを好み、特に走ることやドッチボールやサッカー、ポートボールなどの球技が大好きである。3年生でタグラグビーに似た簡単な内容を経験しているが、本格的なタグやラグビーボールを見ることも使うこともはじめてだったため、目をきらきらさせながら取り組んでいた。</p>
実施内容	<p>① オリエンテーション（学習のねらいやきまりの確認、チーム（色）分け、ベルトの調整など）</p> <p>② タグ取り鬼      ③通りぬけ鬼      ④円陣パス</p> <p>⑤ 簡単なタグラグビーゲーム（基本はタグ取り鬼。ボールを持っている人はタグを取られない。仲間がタグを取られそうになったらボールをパスして助ける。）</p> <p>⑥ タグラグビー大会（チームでルールや作戦を考えながらチーム対抗戦で行った。）</p>
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を第一に考え、危険な行為をしないよう決まりを徹底した。（ぶつからない・押さない・腕をつかまない・足をかけない・後ろ向きで走ってくる人がいたら避ける・2本のタグを一度に取ってはいけない・タグを取りに来た相手の手を振り払わない・・・など）</li> <li>・まずは、タグを取ったり、ボールをパスしたりすることを楽しむために、タグ取り鬼を基本とした簡単なタグラグビーゲームを多く取り入れ、子ども達の意欲が続くようにした。</li> <li>・タグラグビーでは、ボールを後ろにパスすることが難しいようだったので、ボールラインよりも後ろを走ることを助言して行った。チームで作戦を立てたり、チームで練習したりする時間も多くとるようにした。</li> </ul>
感想・印象 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走ることや鬼ごっこが好きな子ども達にとって、はじめて行ったタグ取り鬼は、本当に楽しそうに取り組み、タグラグビーに親しむ良いきっかけとなった。また、日常の遊びの中で行っているタッチ鬼だと「触った」「触られていない」でもめることがあるが、タグは取られたことがはっきりとしているので、もめることもなくスポーツとして楽しむことができた。</li> <li>・チームワークが高まり、だんだんと自分たちから作戦などを考えたり、ゲーム中に声を掛け合ったりするようになるなど、コミュニケーション能力の向上にもつながったように感じる。</li> <li>・これだけのトライセットがそろっているので、中学年にとどまらず、全学年で系統的に指導していくことができたらいいと思う。</li> </ul>

**【お願い】**

実施レポートは、今後小学校の先生方がタグラグビーの授業を行う際の参考にするとともに、学習教材としたタグラグビーの優れた点を広めることを目的としています。実施レポートの一部は、ラグビー協会ホームページや機関誌、制作物等でご紹介させていただきますので、公開可能な範囲でのご記入をお願いいたします。